

◆当日ご来場の皆さまには、「建設未来京都フォーラム2017」記念事業インタビュー集『女性たちが語る建設業の未来』を贈呈！



【CPDS/建築CPD 3ユニット認定】 **百花繚乱！～多様性の建設業～**

「シンポジウム建設未来京都フォーラム2017」開催

2017年**10月6日（金）** 13:00～17:15 <受付開始:12:30～>

参加費無料 募集人数200名(事前申込制/先着順受付)

京都市国際交流会館イベントホール(京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

主催:建設未来京都フォーラム

共催:京都サンダー株式会社 ナレッジボックス株式会社

後援:国土交通省近畿地方整備局 京都府 京都市 一般財団法人建設業振興基金 京都商工会議所

公益社団法人土木学会 一般社団法人京都府建設業協会

一般社団法人全国中小建設業教会全中建京都 京都地盤研究会 西日本建設業保証株式会社

株式会社建設総合サービス 京都建設タイムズ 建設経済新聞社 日刊建設工業新聞社 建通新聞

日刊建設通信新聞社 京都新聞 一般社団法人建設ディレクター協会

## 登壇者プロフィールのご紹介！(I)

### ■オープニングレクチャー 『i-Constructionの現状と建設業の未来』 13:00～13:30



●プレゼンター **建山 和由 氏** (立命館大学理工学部環境システム工学科 教授)

「i-Construction」の第一人者として、政府会議など各種会議メンバーとして活躍中。将来に向けて、限られた人的資源と予算のもとで社会インフラを維持するために、建設ロボットの導入による省力化と合理化が不可欠として、機械制御技術の開発に加え、建設ロボットの活用に施工全体の見直しや施工全体のシステム化による合理化についても推進中。

i-Constructionから建設業の現状・未来を考え、方向性を探る

### ■パネルディスカッション 『多様性のi-Construction』 13:30～14:30

●可児 憲生 氏

可児建設株式会社 代表取締役社長(映像CIM)

昭和25年の創業以来、地域の建設業として、公共工事の河川や道路等の土木工事とともに、地域災害への復旧工事など、地域の要望に対応する企業として成長。IT時代に求められる情報化施工、CIMへの挑戦や、ヒートアイランド技術として、美装塗装や土系舗装工事を手がける。更に、国土交通省が進めるインフラ構造物の維持管理に必要なトレーサビリティや、他社に先駆けて、映像による知財を集積する試みに取り組む。

●松原 悠大 氏 松原建設株式会社 代表取締役社長(ICT)

法人化30周年を迎える富山の総合建設業、松原建設株式会社4代目代表取締役社長。創業は実父。30歳で社長交代し、社内のICT化、ICT施工、CIMの導入、働き方改革等を推進。効率化するために、一つの社章の元、富山、金沢地域圏の建設業をネットワーク化し、資本、物、人材を流動化させ、7社でグループ企業を形成する。現在、地元の建設業と並行して、京都府亀岡市、岐阜県恵那市で土地区画整理事業の事業代行を行う。

●小坂田 英明 氏

株式会社小坂田建設 代表取締役(地域を守る)

日本大学大学院工学科学研究科を修了後、東京でトンネル技術者として4年半勤務。その後、小坂田建設に入社。2008年末に経営危機を迎え、日々の現場毎の損益管理と地域への会社の見える化で経営再建を遂行。“お家周りの町医者”として、地域の様々なニーズに対応。年1回地域の方々との交流イベントを開催。

●石岡 秀貴 氏 株式会社石岡組 専務取締役(工程管理)

顧客に満足と信頼を得るために、高品質な構造物を提供し高い信頼を獲得する、品質とサービスの向上を目指し、効率化・合理化の向上に取り組んでいる。実行予算管理だけでなく、経営者として現場代理人が協力して、工事全体の計画力、施工段取り、予見能力、計画マネジメント全般の能力を高めることで、ネットワークによる工程管理によって目標の品質を作り込み、安全確保して原価低減を実現。建設業の経営に役立つ原価管理を目指し、実行予算とセットで学ぶコストコントロールなど、工事原価計算の近代化に取り組んでいる。

### ■パネルディスカッション 『「百花繚乱」 エレガントな建設業めざして！』 14:45～15:45

【エレガントな建設業】全国の建設業及び建設業関連の業務に従事する女性のみなさん

●吉永 好 氏 (株式会社コイシ)

化学系大学院修了後、繊維アパレルメーカーに就職。結婚後、夫が現場監督で転勤族のため、離職し専業主婦に。現在は、福岡にマイホームを建て、夫は単身赴任、二児の子育て中。仕事では、経理事務から企画、現場パトロールまで幅広く建設業に携わる。趣味はラクロス(子供版ラクロス)

●小玉 恵美 氏 (有限会社コダマ建設)

1980年大阪府生まれ。2004年大阪工業大学建築学科卒業。同年4月姫路市の設計会社に入社。2007年に退社し、父親の経営する有限会社コダマ建設に入社。同年一級建築士免許取得。2014年同社の代表取締役就任。



## 登壇者プロフィールのご紹介！(II)

### ●川崎 美月 氏 (由井電気工業株式会社 工事部)

現代社会学科を卒業後、同年由井電気工業株式会社に入社。平成28年10月には第二種電気工事士資格を取得。

### ●山本 奈美 氏 (株式会社CAD ASSIST 代表取締役)

土木構造設計事務所を経て、CAD教育会社へ転職後、独立。専門学校や職業訓練大学の講師等を経て、自治体、民間企業の建設業を中心にCAD教育を年間約300名程度に行う。

### ●岩崎 夕佳 氏

(株式会社長谷工コーポレーション 建設部門第二施工統括部主任)

大学の授業で、とある建設現場の見学に行った際に感銘を受ける。地図に残り、施工管理が出来、住まいを造ることに特化している、自分の望むことすべてが揃った現在の会社、(株)長谷工コーポレーションに入社。

### ●コーディネーター 栗栖 佳子 氏 (株式会社宙sora 代表取締役/アンガーマネジメントファシリテーター)

代表取締役・ビジネスコーチ。大学卒業後、人材ビジネス(株)パソナで営業およびコーディネーターとして1万人以上の採用面接・キャリアカウンセリングを行い、派遣スタッフや部下の人材育成を行う。

### ●奈良部 咲希 氏 (由井電気工業株式会社 工事部)

ゲーム作製・ジムインストラクターを経験後、由井電気工業株式会社に入社。現在は、実際に住んでいる方がいるお宅を訪問、コンセントや照明、火災報知機の交換などの監督業務、スケジュール管理を行う。

### ●正村 幸美 氏 (三承工業株式会社 管理部部長)

妊娠を機に、会社からの提案により、「カンガルー出勤(出産後赤ちゃんを連れて出勤)」。感謝を胸に他の従業員にも生き生きと働ける環境づくりを実行し。現在社内におけるダイバーシティを推進する「チーム夢子」を結成。後輩社員のために、自主的にチャイルドマインダーの資格も習得。本日も後輩とカンガルー出張！

※チャイルドマインダーとは、家庭的な個別保育をメインとした子どもに関する資格。



## ■オープンフォーラム『新たな職域“建設ディレクター”が拓くやさしい建設業』 16:00~17:00

### 【第1期生の受講生の皆さま】

#### ●木村 さおり 氏 (たち建設株式会社)

たち建設株式会社入社後、一般事務として20年従事。今年初めての建設ディレクター育成講座の受講をきっかけに、この夏から積算業務に携わることに。現在、舗装工事等の積算業務を担当。ゼロからのスタートに苦戦する毎日ですが、早く仕事が覚えられるよう日々業務に取り組んでいます。

#### ●桐畑 絵里 氏 (たち建設株式会社)

滋賀県 たち建設(株)に女性技術者として入社し、3年間現場を経験。妊娠、出産(三児の母)を機に積算業務・IOS関連業務に従事しています。今年度、滋賀県若手技術者・女性技術者土木交通部表彰受賞。今後は各現場のプロデュース、若手の育成に取り組んで生きたいと考えています。

#### ●椿 幸絵 氏 (株式会社昭建)

大学を卒業後、株式会社昭建に入社。土木、舗装の現場施工管理の業務に4年携わっていましたが、結婚のため退職。派遣社員で建築業界などの事務業務を経て、1年前、当時の上司に声をかけていただき、昭建に復職し、今日にいたります。今までとはまったく違う業務に復職し、いろいろ迷う毎日ですが、『明るく前向きに』を心がけて日々邁進しています。

#### ●奥村 光輝 氏 (株式会社オーエムケーエス) 職業 軽天工

建築関係に携わりの少ない方には、分かりにくい職業ですが、簡単に説明させていただき主に壁や天井などの工事を行っています。皆様が日常で多く利用されるスーパーマーケットや病院、学校やコンビニなどのほぼ全ての天井や壁などは、私たち軽天工の職人たちが施工しています。楽しくないや仕事じゃない、個性が消えたら会社じゃない、皆様がふと天上を見上げたときに、私のような愉快的な職人が施工しているんだな一と思っただけだと幸いです。

#### ●櫻井 さおり 氏 (株式会社サクライコンストラクション 代表取締役)

右も左も分からない建設業に携わり、およそ30年。ご縁あって、「建設ディレクター」のお話をお伺いした時に、目からうろこ、の思いでした。私自身が建設業界で培ってきたものは、実は「建設ディレクター」という職種だったのだと。建設業の必要業務を分類し、書き出してみた所、その業務の多さにあらためて驚きました。また、建設ディレクター育成講座を受講した事で、家族従事者として、建設業に携わり、この30年間、必然として培った一切の業務の再確認と今後の課題をも知る事が出来ました。また、経営者としても、優秀な建設ディレクターの育成は自社の発展に繋がる事を自分自身で証明してきたと自負しております。建設ディレクターの活躍こそ、これから魅力ある建設業になる為の未来を担う重要な職域であると確信しております。京都サンダー株式会社の提案と取り組みに、一建設従事者として、心より賛同しております。数年後、「建設ディレクター」と言う肩書きの入った名刺を持って、建設業で生き生きと働く女性や若者の皆さんと、熱く建設業を語る日が来る事を想像し、心躍らせています。

### 【第2期生の受講生の皆さま】

#### ●可児 純子 氏 (可児建設株式会社 取締役企画部長)

可児建設(株)に入社して6年目になります。事務、経理の仕事を中心に現場の映像管理をしています。建設ディレクター育成講座でコーチングの講義を受け、社内でのコミュニケーションの円滑化のヒントを受けました。また現在の仕事と関連性が深い原価管理の講義では“日々の管理”の重要性を痛感したので現場監督とルールを決めながら作りたいです。

#### ●王 艶琳 氏 (株式会社昭建)

立命館大学理工学部環境システム学科を卒業して半年、社会人としての自覚をしながら、株式会社昭建で働いています。今回、建設ディレクター育成講座を受講して、建設業の多様な仕事に気が引かれました。これから学んだことを業務に取り込んで、早速新入社員から脱出して、独自に仕事ができるように頑張っていきたいです。

#### ●木下 賢一郎 氏 (北陵興業株式会社 代表取締役)

北陵興業に入社後、民間、公共の工事現場での現場監督業務に12年従事。2年前に代表職に就任し、現在は現場監督業と積算業務を行っています。建設ディレクター講座で学んだことを業務や社内展開していければと考えております。

#### ●森川 裕司 氏

(東邦電気産業株式会社 工事部電気工事課)

2017年4月に東邦電気産業株式会社に入社。各種建築物における電気設備工事の施工管理を行っています。建設ディレクター育成講座受講中に現場事務所に常駐するようになり、日々勉強の毎日を送っています。



## ■プレゼンテーション

## 『建設ディレクター実施報告』 17:00~17:15

お問い合わせ先:建設未来京都フォーラム事務局(京都サンダー株式会社内) フォーラムオフィシャルサイト(<http://www.kensetsumirai.jp/>)